

○長野県教育委員会「学びの改革パイオニア校」指定校事業
○長野県教育委員会「キャリアアップ研修Ⅱ・Ⅲ」として受講可能

信州ラウンドテーブル 2023

テーマ

学校と地域社会がどのように連携し
これからの時代を担う子どもたちを育成していくか
～「キャリア×STEAM」教育の窓口から～

キャリア × STEAM
**参加費
無料**
※要事前申込み



2023 **10.28** SAT 9:30 - 16:00

in 信州大学教育学部
附属長野小学校
(〒381-0016 長野県長野市南堀77-1)

タイムテーブル

各校「キャリア×STEAM」教育の取組の紹介
制作物の展示、特別支援学校卒業生による販売等

9:30~ 受付

12:00~ 昼食 (附属3校の紹介展示・販売)

10:00~ 開会式

13:00~ ラウンドテーブル **レポーター募集! 詳細は2枚目にて**

10:20~ パネルディスカッション
「これからの未来の学校の姿」

職場や立場をこえた、語り合いと聴き合いの「ひととき」

15:50~ 閉会式

パネリスト



五十棲 浩二 (いそずみ こうじ)

役職: 経済産業省商務・サービスグループ サービス政策課 教育産業室長

経歴:

2001年経済産業省入省。資源エネルギー庁、内閣府、環境省などを経て、2014年に官民交流制度により中高一貫校に出向。2017年に経済産業省政策審議室にて教育産業室の立ち上げに関わったのち、同省を退職。中高一貫校勤務(校長補佐)、私学修学支援センターの立ち上げ、慶應義塾大学特任講師等を経て、2022年7月より経済産業省教育産業室長。



村松 浩幸 (むらまつ ひろゆき)

役職: 信州大学教育学部学部長・研究科長

経歴:

東京学芸大学研究科修了後、長野県中学校技術科教員としてロボコンの立ち上げに尽力。技術教育学・博士(学校教育学)。三重大学を経て2007年より本教育学部へ。附属次世代型学び研究開発センター長や長野県ICT教育推進センター長等を経て、2022年より現職。日本産業技術教育学会会長やEテレ番組委員、NHK高専ロボコン審査委員長等も歴任。学部内にデジタルファブリケーション工房「FabLab長野」を立ち上げ、「オモシロイを形に」をテーマに学生らと様々なモノ作りを楽しんでいる。

※ 附属学校の児童生徒もパネルディスカッションに加わります



申込み / FAXもしくは右記フォームにて事前申込をお願いします。

受付 / 附属長野小学校昇降口 [9:30~開始]

長野電鉄線附属中学前駅より徒歩3分

駐車場有 (附属特別支援学校内 @ 長野県長野市南堀109)

持ち物 / 上履き、名札 (ある方)、昼食

参加申込フォーム

申込期間 2023.08/25~10/10

コチラよりお申し込みください ▶



信州ラウンドテーブル2023 | 検索

主催 / 信州大学教育学部附属長野三校研究会 (長野小学校、長野中学校、特別支援学校)

共催 / 信州大学教職大学院・福井大学連合教職大学院・長野県中小企業家同友会

後援 / 長野県教育委員会・信濃教育会・長野市教育委員会・長野上水内教育会

[お問い合わせ] 担当: 戸谷健史 (実務家教員)

TEL. 026-242-1177

toya_kenji@shinshu-u.ac.jp

2023.10.28

信州ラウンドテーブル

語りを共にする仲間との出会い

これまでの実践を聴き合うラウンドテーブル。
地域も職場も異なる仲間の歩みに、ふと自身の経験が重なる。

「なぜ、仲間はそうしたのか」

「どんな思いでその一歩を踏み出したのか」

互いのちがいが大切に語られ、新たな気づきがあふまれ、語られていく出来事の奥にあるものへと思いをめぐらしていく時間。このラウンドテーブルがその後の実践を支え、自らの問いと探究を深めていく「学びの滑走路」となっていく。

おたがいの歩みを聴き合う

ラウンドテーブル
午後のひととき

10/28(土) 13:00-15:45

- ① はじめに 13:00-13:05
- ② 自己紹介 13:05-13:20
- ③ 語りⅠ 13:20-14:30
- ④ 語りⅡ 14:35-15:45

選択テーマ <語り合いの方向性>

A 探究

一人ひとりの「ワクワク」を核に、探究できる学校・社会

B 共生／インクルーシブ

インクルーシブ:豊かな多様性を包み込む学校・社会

C コミュニティ

コミュニティ:大人も子どもも学び合えるコミュニティ
(地域社会と共同体)



語り手を募集しています

参加者の皆様から語り手(レポーター)を募集しています。ぜひ、みなさまのこれまでの実践の歩みをお聞かせください。

◇地域や職場でのこれまでのご自身の実践、職場の同僚との取り組み等、自由に紹介してください。また、実践や取組を進めていく過程での思いや悩み、様々な出来事を通して少しずつ変化してきた自身の見方や考え方など、語りを共にする当日の仲間たちと交流しましょう。

◇レポートの形式はありません。ご自身の実践や取り組みについて語りやすい方法で紹介してください。

【報告20分、語り合い50分】

<これまでのレポート方法の様子>

◇紙に印刷した実践や取り組みの記録を配付して紹介する。(目次やタイトルを記載した1枚レポート, 実践の様子を記録した複数枚レポートなどどちらでも構いません)



◇パワーポイントやPDF資料をPCやiPad等の画面を見せながら紹介する。



◇実践や取り組みにかかわる作品や製品写真や資料などを見せながら紹介する。



お申し込みはこちら 

